

岡山市の財政状況

[第 13 版]

平成 23 年 6 月

岡山市財政局財政課

岡山市の財政状況[第13版]は、原則として次の基準で表記しています。

- 1 対象 地方財政状況調査（決算統計）による普通会計
- 2 年度 平成 21 年度までは、各年度の決算
平成 22 年度は、決算見込み
平成 23 年度は、当初予算
- 3 合併による数値基準
平成 15 年度までは、旧岡山市のみの数値
平成 16 年度、平成 17 年度は、御津町、灘崎町との合併後の数値
平成 18 年度以降は、建部町、瀬戸町との合併後の数値
- 4 財務書類 4 表の作成基準
総務省方式改訂モデル
- 5 上記以外の基準による場合は、個別に注釈しています。

岡山市の財政状況

— 財政状況は改善も見られますが、依然厳しく
さらなる行財政改革が必要です —

1 財政状況の現状は？	1
(1) 市税収入の動向には今後、留意が必要	1
(2) 地方交付税は政令指定都市移行もあり、平成21年度から大きく増加	2
(3) 義務的経費のうち、人件費は減少するも扶助費は大幅に増加	3
(4) 市全体の借金は行革努力等により着実に減	4
(5) 行革効果により財源調整のための基金の取崩しを抑制	6
(6) 財政指標は改善傾向にあるものの、依然として高い（悪い）水準	7
2 財政指標の政令指定都市中でのランクは？	8
(1) 他都市と比較すると、実質公債費比率は高い（悪い）レベル	8
(2) 経常収支比率の中では公債費の割合が高い	9
(3) 健全化判断比率等はすべて早期健全化基準をクリア	10
3 岡山市の普通会計財務書類4表	12
(1) 普通会計貸借対照表（バランスシート）	12
(2) 普通会計行政コスト計算書	14
(3) 普通会計純資産変動計算書	16
(4) 普通会計資金収支計算書	17
4 今後の収支見通し	18
(1) 5年間の収支見込み	18
(2) 今後の財政指標は、行革努力の継続によるさらなる改善が必要	19
(3) 今後の大規模事業について	20
5 これまでの取組みや今後の見通し	21
(1) 岡山市都市ビジョン[新・岡山市総合計画]を推進します	21
(2) 新行革大綱の各種目標達成に向けて行財政改革を推進しています	22
(3) 職員数を削減し、人件費総額を抑制します	23
(4) 扶助費・保険医療費は増加の一途	24
(5) 下水道の効率的な普及に努めています	25
(6) 土地改良事業の債務負担行為残高の削減に努めます	27
(7) 土地開発公社の土地保有額は、5年間で170億円超の圧縮	28
6 資料編	29
(1) 普通会計決算収支状況等の推移	30
(2) 歳入歳出決算額の推移	31
(3) 普通会計財務書類4表	38
(4) 連結財務書類4表	44
(5) 市町村財政比較分析	50
(6) 今後の収支見通し	51

（「岡山市の財政状況」は、平成11年度に初版を作成し、今回が第13版になります。）